

令和8年度新たなコンテナ苗生産技術等調査委託事業仕様書

1 事業名

令和8年度新たなコンテナ苗生産技術等調査委託事業

2 事業目的

コンテナ苗の本格的な生産が開始してから約15年が経過し、標準的なコンテナ容器による生産方法は確立されつつある一方、近年、新たなコンテナ容器*により生産されたコンテナ苗（以下「新たなコンテナ苗」という。）も一部で流通している実態がある。

これら新たなコンテナ苗は、育苗・植栽・保育の各段階での検証が必ずしも十分行われているとは言えず、その評価が分かれる技術も散見される。そのため、従来生産されてきた標準的なコンテナ苗（以下「従来のコンテナ苗」という。）と、新たなコンテナ苗とを比較し、育苗・植栽・保育の各段階を通じて成林する上で問題が発生しないか、その実態を把握することを目的とする。

※新たなコンテナ容器とは、素材（不織布・紙・セラミックなど）、形状（分離型、シート型など）、育成孔の容量、根巻き防止構造などが、従来のコンテナ苗と異なるもので、実際に流通している、もしくは、実用に供される見込みが高いものを想定している。

これまで別表1の事業年次計画に基づき、令和5年度から令和7年度にかけて、検討委員会を設置して、以下の事業を実施してきた。

①栽培段階での成長等の比較試験（育苗・測定及び根系調査）

- ・【高知県】表日本系スギ及びヒノキ
- ・【秋田県】裏日本系スギ及びカラマツ

②植栽後の初期成長等の比較調査

（育苗・測定、成長休止期毎の地上部測定及び解体試験）

- ・【高知県】表日本系スギ及びヒノキ
- ・【秋田県】裏日本系スギ
- ・【岩手県】カラマツ
- ・【熊本県】上記4種

③コンテナ苗生産の実態把握及び流通苗木の植栽試験

（ヒアリング、流通苗木の探索、流通苗木の植栽、地上部測定及び解体試験）

④新たなコンテナ苗による既存造林地での生育状況調査

（掘り取り試験、分析、整理）

⑤文献調査

3 事業内容

本事業は、別表1のうち、令和8年度に位置づけた事業と過年度の事業実績を含めた取りまとめを行うものとし、具体的な内容は以下のとおりとする。

（1）検討委員会の設置・運営

事業の実施に当たっては「コンテナ苗生産技術等検討委員会」（以下「検討委員会」という。）を設置し、検討委員会から以下の内容等必要な技術的指導及び助言を受けることとする。また、委員との調整や会場手配、検討委員会の概要及び議事録の作成等、検討委員会の運営を行う。なお、検討委員会の開催回数は2回以上を想定しており、以下の内容を審議することとし、調査状況、取りまとめ状況等を踏まえ、開催時期等については林野庁担当職員と調整の上決定する。

（第1回）過年度事業の報告、事業実施に当たっての留意事項の検討等

（第2回）過年度事業の成果を含む最終的な調査結果により得られた知見の報告と取りまとめ

委員は5名以上とし、造林、育林技術、種苗生産、森林生態及びコンテナ苗生産等に関する学識経験者等がバランス良く含まれるよう配慮し、林野庁担当職員と調整の上決定する。

なお、検討委員会における審議により、(2)、(3)の調査内容について変更があり得るものとする。

(2) 新たなコンテナ苗の植栽試験による初期成長等の比較調査

以下の①②のとおりとし、実施に当たって必要に応じて事業者等へのヒアリングを行うこととする。

なお、試験に当たっては、別表2、3のとおり、植栽試験地に調査対象のコンテナ苗を植栽済みであり、委託契約締結後速やかに苗木及び植栽試験地を管理し、下刈を適期に1回実施すること。

なお、本事業の終了後、国有林以外に設定された植栽試験地は廃止するため、試験終了後に残存した苗木は廃棄すること。

① コンテナ苗生産の実態把握及び流通苗木の植栽試験

別表2のとおり試験地に植栽したコンテナ苗について、成長期を経過した秋以降の成長休止期に、地上部調査（苗高及び根元径の調査）と生存率調査を行うとともに、植栽木を掘り取って、以下を測定項目とする解体試験を実施する。

(解体試験の測定項目)

苗高、根元径、各部の重量（生重量、絶乾重量）、根の発達状況、容器の分解状況

② 植栽後の初期成長等の比較調査（植栽試験）

別表3のとおり植栽試験地に植栽したコンテナ苗について、成長期を経過した秋以降の成長休止期に、地上部調査（苗高及び根元径の調査）と生存率調査を実施するとともに、植栽木から抽出により掘り取って解体試験（①で記載した内容と同じ）を実施する。

4 調査実施期間

委託契約締結日～令和9年3月12日

なお、実施スケジュール及び実施体制を契約締結後10日以内に提出のこと。

5 成果品

事業が終了した場合は、3に掲げる事項について事業報告書に取りまとめ、印刷物80部、電子媒体（DVD-R）2部を林野庁森林整備部整備課造林間伐対策室造林資材班（農林水産省別館7階ドアNo.別718）に提出することとする。

なお、電子媒体は、ウイルス対策を実施した上で、ウイルス対策に関する情報（ウイルス対策ソフト名、ウイルス定義、チェック年月日）を記載したラベルを貼付し、提出することとする。

6 その他

(1) 本事業における人件費の算定に当たっては、別添「委託事業における人件費の算定等の適正化について」に従って行うものとする。なお、発注者は受託者から提出された人件費の算定について確認するため、原則として人件費単価表（受託者が組織として人件費単価を定めている場合）又は実際に従事する（した）者の給与明細を確認する。

(2) 本事業についての打合せを、業務着手段階、事業報告書の取りまとめの段階の2回以上行うものとし、これに加えて、林野庁担当職員から求めがあった場合は別途打合せを行うものとする。

- (3) 本事業については、コンテナ苗生産技術等について、十分理解したうえで実施するものとする。また、本事業実施に当たっては、林野庁からコンテナ苗生産技術等に精通している研究機関・団体等を紹介する。
- (4) 受託者は、本事業により知り得た情報について、外部に漏らしてはならない。
- (5) 林野庁からの貸与物件については、本事業の遂行のみのために利用するものとし、本事業と無関係の部署及び再委託契約者以外の他者への譲渡並びに本事業の遂行の目的以外でのデータの複製を行ってはならない。再委託契約相手方へデータを貸与する場合は、林野庁担当職員の承認を得た貸与条件を付した上で、再委託を行うものとする。また、貸与物件は、本事業の完了までに返却するものとし、データを複製した場合は、契約履行後に全て消去するものとする。
- (6) 受託者は、事業の実施に当たり、関連する環境関係法令を遵守するとともに、新たな環境負荷を与えることにならないよう、事業の最終報告時に別紙様式を用いて、以下の取組に努めたことを、みどりチェック実施状況報告書を提出すること。なお、全ての事項について「実施した／努めた」又は「左記非該当」のどちらかにチェックを入れるとともに、ア～カの各項目について、一つ以上「実施した／努めた」にチェックを入れること。

- | |
|---|
| <p>ア 環境負荷低減に配慮したものを調達するよう努める。</p> <p>イ エネルギーの削減の観点から、オフィスや車両・機械などの電気、燃料の使用状況の記録・保存や、不必要・非効率なエネルギー消費を行わない取組（照明、空調のこまめな管理や、ウォームビズ・クールビズの励行、燃費効率の良い機械の利用等）の実施に努める。</p> <p>ウ 臭気や害虫の発生源となるものについて適正な管理や処分に努める。</p> <p>エ 廃棄物の発生抑制、適正な循環的な利用及び適正な処分に努める。</p> <p>オ 工事等を実施する場合は、生物多様性に配慮した事業実施に努める。</p> <p>カ みどりの食料システム戦略の理解に努めるとともに、機械等を扱う場合は、機械の適切な整備及び管理並びに作業安全に努める。</p> |
|---|

- (7) 業務の目的を達成するために、本仕様書に明示されていない事項で必要な作業が生じたときは、林野庁担当職員と受託者が協議を行うものとする。
- (8) 本事業の実施に伴い収集した調査データ等については、データの集計等に利用可能なデータ形式（Excel、Word等）により、電子媒体（DVD-R）にて提出することとする。なお、提出場所及びウイルス対策については、5の成果品の提出と同様とする。

(別表2)

コンテナ苗生産の実態把握及び流通苗木の植栽試験内訳

植栽試験地：熊本県阿蘇市波野大字中江地区

土地管理者：個人

都道府県	苗木入手 対象者数	調査対象樹種（本数は本年度開始時）						合 計
		スギ		ヒノキ		カラマツ		
		150cc	300cc	150cc	300cc	150cc	300cc	
北海道	3 者					60 本	20 本	80 本
福島県	3 者		60 本					60 本
岐阜県	1 者	40 本						40 本
三重県	1 者	60 本						60 本
和歌山県	1 者	20 本		20 本				40 本
鳥取県	2 者	40 本		40 本				80 本
島根県	5 者	120 本		140 本				260 本
広島県	1 者			20 本				20 本
愛媛県	1 者	20 本		20 本				40 本
大分県	1 者	40 本						40 本
宮崎県	2 者	20 本	40 本					60 本
鹿児島県	1 者	40 本	20 本					60 本
合 計	22 者	400 本	120 本	240 本	0 本	60 本	20 本	840 本

1種類20本ずつ。300cc未満は150ccに計上した。

(別表3)

植栽後の初期成長等の比較調査（植栽試験）で使用する苗木内訳

生産試験地	選定樹種	植栽試験地 (面積)	選定容器	容器素材	サイズ (cc)	植栽時期	本試験開始時の 苗木本数 (本)	解体試験 予定本数 (本)			
(有)田村山林 緑化農園 (秋田県山本 郡三種町)	スギ (表日本系)	苗畑 土地管理者 (有)田村山林緑化農園 (秋田県山本郡三種町)	マルチキャビティ(リブ型)	ブラ	150	R6.12	20	5			
			マルチキャビティ(リブ型)	ブラ	300		20	5			
			A社製 新タイプ	不織布	150		20	5			
			A社製 旧タイプ	不織布	150		20	5			
			A社製 旧タイプ	不織布	300		20	5			
			A社製 新タイプ(A社推奨培地使用)	不織布	150		20	5			
			A社製 旧タイプ(A社推奨培地使用)	不織布	150		20	5			
			A社製 旧タイプ(A社推奨培地使用)	不織布	300		20	5			
			B社製 新タイプ	不織布	150		20	5			
			B社製 旧タイプ	不織布	300		20	5			
			B社製 旧タイプ	不織布	150		20	5			
			B社製 旧タイプ	不織布	300		20	5			
			C社製(C社独自培地使用)	繊維系	254		20	5			
			D社製	紙	174		20	5			
		D社製	紙	289	20		5				
		計							300	75	
				森林 土地管理者 秋田森林管理署 外ノ山国有林 1160と2林小班 (秋田県仙北市) (0.1ha)	マルチキャビティ(リブ型)		ブラ	150	R6.10	20	5
					マルチキャビティ(リブ型)		ブラ	300		20	5
					A社製 新タイプ		不織布	150		20	5
					A社製 旧タイプ		不織布	150		20	5
					A社製 旧タイプ		不織布	300		20	5
			A社製 新タイプ(A社推奨培地使用)		不織布	150	20	5			
			A社製 旧タイプ(A社推奨培地使用)		不織布	150	20	5			
			A社製 旧タイプ(A社推奨培地使用)		不織布	300	20	5			
			B社製 新タイプ		不織布	150	20	5			
			B社製 新タイプ		不織布	300	20	5			
			B社製 旧タイプ		不織布	150	20	5			
			B社製 旧タイプ		不織布	300	20	5			
			C社製(C社独自培地使用)		繊維系	254	20	5			
			D社製		紙	174	20	5			
			D社製	紙	289	20	5				
	計							300	75		
			苗畑 土地管理者 (有)田村山林緑化農園 (秋田県山本郡三種町)	マルチキャビティ(リブ型)	ブラ	150	R6.12	20	5		
				マルチキャビティ(スリット型)	ブラ	150		20	5		
				E社製	ブラ	150		20	5		
				A社製 新タイプ	不織布	150		20	5		
				A社製 旧タイプ	不織布	150		20	5		
				B社製 新タイプ	不織布	150		20	5		
				B社製 旧タイプ	不織布	150		20	5		
				C社製(C社独自培地使用)	繊維系	254		20	5		
				D社製	紙	174		20	5		
	計							180	45		
		森林 土地管理者 盛岡森林管理署 網張国有林 790と2林小班 (岩手県雫石町) (0.1ha)		マルチキャビティ(リブ型)	ブラ	150		R6.10	20	5	
				マルチキャビティ(スリット型)	ブラ	150			20	5	
				E社製	ブラ	150			20	5	
				A社製 新タイプ	不織布	150			20	5	
			A社製 旧タイプ	不織布	150	20	5				
			A社製 新タイプ(A社推奨培地使用)	不織布	150	20	5				
			A社製 旧タイプ(A社推奨培地使用)	不織布	150	20	5				
			B社製 新タイプ	不織布	150	20	5				
			B社製 旧タイプ	不織布	150	20	5				
			C社製(C社独自培地使用)	繊維系	254	20	5				
			D社製	紙	174	20	5				
計							220		55		
			カラマツ								

生産試験地	選定樹種	植栽試験地	選定容器	容器素材	サイズ (cc)	植栽時期	本試験開始時の 苗木本数 (本)	解体試験 予定本数 (本)			
山崎農園 (高知県香美 市土佐山田 町)	スギ (表日本系)	苗畑 土地管理者 石川種苗園 (香美市香北町)	マルチキャビティ(リブ型)	プラ	150	R6.12	20	5			
			マルチキャビティ(リブ型)	プラ	300		20	5			
			B社製 新タイプ	不織布	150		20	5			
			B社製 新タイプ	不織布	300		20	5			
			B社製 旧タイプ	不織布	150		20	5			
			B社製 旧タイプ	不織布	300		20	5			
			C社製(C社独自培地使用)	繊維系	254		20	5			
			D社製	紙	174		20	5			
			D社製	紙	289		20	5			
			計						180	45	
		森林 土地管理者 安芸森林管理署 河又柄尾山国有林 (高知県安芸市) (0.1ha) ※下記ヒノキと 合わせた面積	マルチキャビティ(リブ型)	プラ	150	R6.12	20	5			
			マルチキャビティ(リブ型)	プラ	300		20	5			
			B社製 新タイプ	不織布	150		20	5			
			B社製 新タイプ	不織布	300		20	5			
			B社製 旧タイプ	不織布	150		20	5			
			B社製 旧タイプ	不織布	300		20	5			
			D社製	紙	174		20	5			
			D社製	紙	289		20	5			
	計						160	45			
	ヒノキ		苗畑 土地管理者 石川種苗園 (香美市香北町)	マルチキャビティ(リブ型)	プラ		150	R6.12	20	5	
		マルチキャビティ(リブ型)		プラ	300	20	5				
		B社製 新タイプ		不織布	150	20	5				
		B社製 新タイプ		不織布	300	20	5				
		B社製 旧タイプ		不織布	150	20	5				
		B社製 旧タイプ		不織布	150	20	5				
		D社製		紙	174	10	5				
		D社製		紙	289	20	5				
		計							150	40	
		森林 土地管理者 安芸森林管理署 河又柄尾山国有林 (高知県安芸市) (面積はスギと共通)		マルチキャビティ(リブ型)	プラ	150	R6.12		20	5	
			マルチキャビティ(リブ型)	プラ	300	20		5			
			B社製 新タイプ	不織布	150	20		5			
			B社製 新タイプ	不織布	300	20		5			
			B社製 旧タイプ	不織布	150	20		5			
			B社製 旧タイプ	不織布	150	20		5			
			D社製	紙	174	20		5			
			D社製	紙	289	20		5			
計						160	45				

生産試験地	選定樹種	植栽試験地	選定容器	容器素材	サイズ (cc)	植栽時期	本試験開始時の 苗木本数 (本)	解体試験 予定本数 (本)				
(有)田村山林 緑化農園 (秋田県山本 郡三種町)	スギ (表日本系)	苗畑 土地管理者 個人 (熊本県阿蘇市波野大字 中江地区)	マルチキャビティ(リブ型)	プラ	150	R6.12	20	5				
			マルチキャビティ(リブ型)	プラ	300		20	5				
			A社製 新タイプ	不織布	150		20	5				
			A社製 旧タイプ	不織布	150		20	5				
			A社製 旧タイプ	不織布	300		16	5				
			A社製 新タイプ(A社推奨培地使用)	不織布	150		20	5				
			A社製 旧タイプ(A社推奨培地使用)	不織布	150		20	5				
			A社製 旧タイプ(A社推奨培地使用)	不織布	300		20	5				
			B社製 新タイプ	不織布	150		20	5				
			B社製 新タイプ	不織布	300		20	5				
			B社製 旧タイプ	不織布	150		20	5				
			B社製 旧タイプ	不織布	300		20	5				
			D社製	紙	174		20	5				
			D社製	紙	289		20	5				
	計							276	70			
	カラマツ		マルチキャビティ(リブ型)	プラ	150	R6.12	14	5				
			マルチキャビティ(スリット型)	プラ	150		20	5				
			E社製	プラ	150		20	5				
			A社製 新タイプ	不織布	150		20	5				
			A社製 旧タイプ	不織布	150		20	5				
			B社製 新タイプ	不織布	150		20	5				
			B社製 旧タイプ	不織布	150		20	5				
			D社製	紙	174		19	5				
			計							153	40	
			山崎農園 (高知県香美 市土佐山田 町)	スギ (表日本系)	マルチキャビティ(リブ型)		プラ	150	R6.11	20	5	
	マルチキャビティ(リブ型)				プラ	300	20	5				
	B社製 新タイプ				不織布	150	20	5				
	B社製 新タイプ				不織布	300	20	5				
B社製 旧タイプ	不織布	150			20	5						
B社製 旧タイプ	不織布	300			20	5						
C社製(C社独自培地使用)	繊維系	254			20	5						
D社製	紙	174			20	5						
D社製	紙	289			20	5						
計							180	45				
ヒノキ	マルチキャビティ(リブ型)	プラ		150	R6.11	20	5					
	マルチキャビティ(リブ型)	プラ		300		20	5					
	B社製 新タイプ	不織布		150		20	5					
	B社製 新タイプ	不織布		300		20	5					
	B社製 旧タイプ	不織布		150		20	5					
	B社製 旧タイプ	不織布		150		20	5					
	C社製(C社独自培地使用)	繊維系		254		20	5					
	D社製	紙		174		12	5					
	D社製	紙	289	20		5						
計							172	45				

・培地に特段の記載がないものについては全て共通

様式

みどりチェック実施状況報告書

事業名	令和8年度新たなコンテナ苗生産技術等調査委託事業
事業者名	
担当者・連絡先	

以下のア～カの取組について、実施状況を報告します。

ア 環境負荷低減に配慮したものを調達するよう努める。

具体的な事項	実施した／努めた	左記非該当
・対象となる物品の輸送に当たり、燃料消費を少なくするよう検討する（もしくはそのような工夫を行っている配送業者と連携する）。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
・対象となる物品の輸送に当たり、燃費効率の向上や温室効果ガスの過度な排出を防ぐ観点から、輸送車両の保守点検を適切に実施している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
・農林水産物や加工食品を使用する場合には、農薬等を適正に使用して（農薬の使用基準等を遵守して）作られたものを調達することに努めている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
・事務用品を使用する場合には、詰め替えや再利用可能なものを調達することに努めている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
・その他（ ）		

・上記で「実施した／努めた」に一つもチェックが入らず（全て「左記非該当」）、その他の取組も行っていない場合は、その理由（ ）

イ エネルギーの削減の観点から、オフィスや車両・機械などの電気、燃料の使用状況の記録・保存や、不必要・非効率なエネルギー消費を行わない取組（照明、空調のこまめな管理や、ウォームビズ・クールビズの励行、燃費効率の良い機械の利用等）の実施に努める。

具体的な事項	実施した／努めた	左記非該当
・事業実施時に消費する電気・ガス・ガソリン等のエネルギーについて、帳簿への記載や伝票の保存等により、使用量・使用料金の記録に努めている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
・事業実施時に使用するオフィスや車両・機械等について、不要な照明の消灯やエンジン停止に努めている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
・事業実施時に使用するオフィスや車両・機械等について、基準となる室温を決めたり、必要以上の冷暖房、保温を行わない等、適切な温度管理に努めている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
・事業実施時に使用する車両・機械等が効果的に機能を発揮できるよう、定期的な点検や破損があった場合は補修等に努めている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
・夏期のクールビズや冬期のウォームビズの実施に努めている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
・その他（ ）	/	/

・上記で「実施した／努めた」に一つもチェックが入らず（全て「左記非該当」）、その他の取組も行っていない場合は、その理由（ ）

ウ 臭気や害虫の発生源となるものについて適正な管理や処分に努める。

具体的な事項	実施した／努めた	左記非該当
・臭気が発生する可能性がある機械・設備（食品残さの処理や堆肥製造等）を使用する場合、周辺環境に影響を与えないよう定期的に点検を行う。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
・臭気や害虫発生の原因となる生ごみの削減や、適切な廃棄などに努めている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
・食品保管を行う等の場合、清潔な環境を維持するため、定期的に清掃を行うことに努めている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
・その他（ ）	/	/

・上記で「実施した／努めた」に一つもチェックが入らず（全て「左記非該当」）、その他の取組も行っていない場合は、その理由（ ）

具体的な事項	実施した／努めた	左記非該当
<ul style="list-style-type: none"> 「環境配慮のチェック・要件化（みどりチェック）チェックシート解説書－民間事業者・自治体等編－」にある記載内容を了知し、関係する事項について取り組むよう努める。 	□	□
<ul style="list-style-type: none"> 事業者として独自の環境方針やビジョンなどの策定している、もしくは、策定を検討する。 	□	□
<ul style="list-style-type: none"> 従業員等向けの環境や持続性確保に係る研修などを行っている、もしくは、実施を検討する。 	□	□
<ul style="list-style-type: none"> 作業現場における、作業安全のためのルールや手順などをマニュアル等に整理する。また、定期的な研修などを実施するように努めている。 	□	□
<ul style="list-style-type: none"> 資機材や作業機械・設備が異常な動作などを起こさないよう、定期的な点検や補修などに努めている。 	□	□
<ul style="list-style-type: none"> 作業現場における作業空間内の工具や資材の整理などを行い、安全に作業を行えるスペースを確保する。 	□	□
<ul style="list-style-type: none"> 労災保険等の補償措置を備えるよう努めている。 	□	□
<ul style="list-style-type: none"> その他（ ） 	/	/

・上記で「実施した／努めた」に一つもチェックが入らず（全て「左記非該当」）、その他の取組も行っていない場合は、その理由
 （ ）